



# 2023年度 活動報告書

サイクリングで、  
子どもたちの未来を変える。



# もくじ

---

- 03 ビジョンとミッション
  - 04 理事長からのメッセージ
  - 05 2023年の歩み
  - 06 主なライドイベント
  - 07 チャレンジャーの声
  - 08 メンターとチャレンジャーの対話
  - 09 財務報告
  - 10 チームと役員
  - 11 サポーターのみなさま
- 

## ミッション

長距離サイクリングを通じて、児童養護施設や困難な状況にある子どもたちを支援し、日本の教育格差への意識を高め、子どもたちが自己肯定感とコミュニケーション能力を育み、自分の思い描いた未来へ自由にチャレンジできる社会の実現を目指します。

## ビジョン

すべての子どもが、自分の思い描いた未来へ自由にチャレンジできる社会へ。

## 理事長からのメッセージ



高橋 陽介

Yosuke Takahashi

代表理事長 / Representative Director

2023年は、NPO法人として4期目を迎えたサイクリング・フォー・チャリティーにとって、大きな挑戦の年となりました。

春のライドから始まり、3回の練習会・軽井沢チャレンジ・しまなみ海道チャレンジ・年次報告会と、計7つのイベントを開催しました。

秋には初めて2つの長距離チャレンジを連続開催。

軽井沢チャレンジ（東京～軽井沢 3日間）には4名のチャレンジャーが参加し、練習会3回・本番3日間を通じて、着実に成長していく姿を間近で見られたことが、この活動の何より大きな喜びです。

しまなみ海道チャレンジ（尾道～今治 4日間）は大人ライダーのみで開催。

海外から2名のライダーが参加し、CFCの活動への寄付集めを担ってくれました。

2023年の寄付金が前年比+231%と大きく伸びた要因の一つです。

財務面では、多くの皆さまからのご支援により、経常収益 ¥1,365,774（前年比+105%）を達成し、当期増減額+¥1,018,220の黒字決算となりました。

寄付して下さった皆さま、メンバーの皆さま、チャレンジャーとご家族さま、すべての方々に心より感謝申し上げます。

2024年も引き続き、子どもたちの未来を支える活動を進めてまいります。

# 2023年の歩み

2023年は、CFCにとって活動8年目・NPO法人として4期目のシーズン。

7つのイベントを開催し、延べ74名の方々にご参加いただきました。

以下は2023年の主な数字です。



## 2023年のハイライト

- 4月 春のライド（多摩湖）東京・多摩湖でシーズン開幕の日帰りライド。9名のライダーが春の陽気の中を走りました。
- 9月 練習会 武蔵境 初回練習会。5名のライダーと4名のチャレンジャーが参加し、初めての40kmライドに挑戦。ハンドサインと輪行の基礎を学びました。
- 9月 練習会 二子玉川 雨天中でも決行。6名のライダーと3名のチャレンジャーが55～60kmを走破。悪条件でのライドスキルを磨きました。
- 10月 練習会 葛西臨海公園 本番直前の最終練習。5名のライダーと2名のチャレンジャーが各自のペースを確認しました。
- 10月 軽井沢チャレンジ（3日間）東京から軽井沢まで約230kmを走破。22名のライダーと4名のチャレンジャーが完走しました。
- 10月 しまなみ海道チャレンジ（4日間）海外から2名を含む4名のメンバーで走破。CFCへの寄付集めを担い、寄付金大幅増に貢献しました。
- 11月 年次報告会 チャレンジャーがサポーターを前に1年間の挑戦を発表。7名のライダーと3名のチャレンジャーが参加しました。

# 主なライドイベント

CFCの活動の中心は、長距離ライド。

2023年は7つのイベントを通じて、チャレンジャーと大人のメンバーが共に走りました。



## 春のライド・多摩湖

4月・日帰り・東京・多摩湖

2023年シーズン開幕の日帰りライド。  
9名のライダーが春の陽気の中を走りました。

ライダー9名



## 練習会 武蔵境

9月・武蔵境駅集合

初回練習会。  
チャレンジャーが初めての40kmライドに挑戦し、ハンドサインと輸行の基礎を学びました。

ライダー5名・チャレンジャー4名



## 練習会 二子玉川

9月・二子玉川集合

雨天の中でも決行。  
55～60kmを走破し、悪条件でのライドスキルを磨きました。

ライダー6名・チャレンジャー3名



## 練習会 葛西臨海公園

10月・葛西臨海公園

本番直前の最終練習。  
各チャレンジャーが自分のペースと課題を確認しました。

ライダー5名・チャレンジャー2名



## しまなみ海道チャレンジ

10月・4日間・尾道～今治

海外から2名を含む4名のライダーが走破。  
CFCへの寄付集めも担い、寄付金大幅増の原動力となりました。

ライダー4名・海外2名参加



## 年次報告会

11月・東京都内

チャレンジャーがサポーターを前にスピーチ。  
1年間の挑戦を自分の言葉で語るプログラムの集大成。

ライダー7名・チャレンジャー3名



## 軽井沢チャレンジ・3日間

10月・東京 軽井沢・約230km

2023年最大のイベント。  
4名のチャレンジャーが東京から軽井沢まで約230kmを完走しました。  
練習会3回を経て本番に挑み、強風の初日も全員が走り抜きました。  
チャレンジャーが大人ライダーと共に成長していく、CFCの活動の集大成です。

ライダー22名・チャレンジャー4名・3日間 / 230km

# チャレンジャーの声

イベント後の振り返りシートに書かれた、2023年のチャレンジャー本人の言葉を紹介します。  
プライバシー保護のため、個人名はイニシャル表記としています。

「遅れを取らずについていけた。  
ハンドサインを理解してできるようにな  
った。」

Eさん・練習会 9/17 (40km完走)

「多摩湖まで向かっているときに、前の  
ライダーのハンドサインを真似て後ろに  
合図ができた。」

Yさん・練習会 9/17 (初参加)

「いい写真が撮れたこと、走りきれたこ  
と。」

Sさん・練習会 9/17

「前回の反省を活かし、忘れ物をするこ  
となく臨めた。  
予定より多く走り、自分の限界も見えて  
きた。」

Yさん・練習会 9/30

「無事に110kmを完走できた。  
自分のペースがわかるようになった。」

Kさん・軽井沢チャレンジ Day 2 (110km完走)

「後悔したくないので、できるところま  
でやってみます。」

Kさん・軽井沢チャレンジ アンケートより

# メンターとチャレンジャーの対話

2022年に導入したメンター制度では、各チャレンジャーに2名の大人がついて、練習会から本番、そして報告会まで一緒に伴走します。

下記は2023年シーズンに記録された、メンターからチャレンジャーへの実際のフィードバックの一部です。

個人情報保護のため、お名前はイニシャル表記としています。

「とてもスポーツ万能で驚きました。

ライドの回数が少ないのでお尻や背中が痛くなるのでは？と少し心配していますが、無理しないようにね！」

Mメンター Eさん・練習会 9/17

「初めての40kmお疲れ様でした！後半はハンドサインもできるようになり、余裕も出てきたようでよかったです。」

Sメンター Eさん・練習会 9/17

「自宅から輪行して参加されたことは素晴らしいです。

本番は走りやすい20～25km/hになるので心配しないでください！」

Kメンター Yさん・練習会 9/30(70km強)

「見事2日目111kmを完走しましたね！前日のケガの影響を心配していましたが、弱音ひとつ吐かずに完走した姿に感動しました。」

Mメンター Eさん・軽井沢チャレンジ Day 2

「初めての長距離ライド110kmおめでとう！最後の上り坂でスーッと立って立ち漕ぎし、先に進む姿に感動しました。」

Aメンター Kさん・軽井沢チャレンジ Day 2

上記は2023年シーズンの振り返りシートに実際に記録された、メンターからチャレンジャーへのフィードバックの一部です。

# 財務報告

NPO法人サイクリング・フォー・チャリティーの第4期（2023年1月1日～12月31日）の活動計算書および貸借対照表の概要です。

区分	科目	FY2023（円）	FY2022（円）	増減
経常収益	受取会費	260,000	320,000	18.8%
	受取寄附金	1,103,389	333,000	+231%
	その他収益	2,385	14,049	83.0%
	経常収益計	1,365,774	667,049	+105%
経常費用	事業費	288,060	0	（新規）
	管理費	59,494	112,934	47.3%
	経常費用計	347,554	112,934	+208%
損益	当期経常増減額	+1,018,220	+554,115	—

貸借対照表	2023年12月31日	2022年12月31日
現金預金	¥3,000,604	¥1,982,384
資産合計	¥3,000,604	¥1,982,384
負債合計	¥0	¥0
正味財産合計	¥3,000,604	¥1,982,384

## 財務に関する補足説明

2023年は、経常収益¥1,365,774・経常費用¥347,554となり、当期経常増減額+¥1,018,220の黒字決算となりました。

経常収益は前年比+105%（前年¥667,049）と大きく成長。

受取寄附金が¥1,103,389（前年比+231%）に達したことが牽引しました。

しまなみ海道チャレンジに参加した海外ライダー2名による寄付集めが、この寄付金大幅増の主な要因です。

事業費は前年の¥0から¥288,060に拡大し、軽井沢・しまなみ海道などプログラム充実への投資を進めました。

純資産は¥3,000,604と引き続き増加（前年¥1,982,384）し、健全な財務基盤を保っています。

なお、当法人は設立以来一度も助成金や借入金を受けておりません。

出典：決算報告書2023年\_令和5年.pdf・東京都へ提出済の監査済決算書類より。

# チームと役員

2023年末現在、CFCは5名の理事・監事と11名の正会員によって運営されています。

## 役員

高橋 陽介	理事長
横尾 明久	副理事長
洪 啓棠	理事
鎌田 淳	監事
山本 健太郎	監事

## 正会員

キース・グロッグ	一杉 美樹	高橋 寿々子
西村 りか	福田 哲	高松 英彦
望月 淳	伏見 英	野中 さやか
澤田 京子	高橋 裕輔	

## 賛助会員

(2023年度はなし)

## 法人情報

法人名	特定非営利活動法人 サイクリング・フォー・チャリティー
設立	2019年10月21日(NPO法人化) / 2015年(最初のプロジェクト)
所在地	東京都
事業年度	1月1日～12月31日(暦年)
銀行	楽天銀行 普通預金
連絡先	cyclingforcharityjapan@gmail.com
ウェブ	www.cyclingforcharityjapan.com

# サポーターのみなさま

2023年も、個人サポーター・サイクリスト・サポートカークルー・チャレンジャーのご家族・メンター・児童養護施設の職員の皆さまに支えていただきました。心より感謝申し上げます。

## 2023年メンター

2023年シーズンには複数のメンターがチャレンジャーに伴走しました。多くは上記の正会員、または毎年支援くださるライダーの方々です。お一人お一人の伴走が、チャレンジャーの成長を支えています。

## 個人寄付者

2023年の個人寄付総額：¥1,103,389

活動開始以来、これまでに延べ多くの方々からご寄付をいただけてきました。皆さまのご支援が子どもたちのチャレンジを支える原動力となっています。心より感謝申し上げます。

## ご参加・ご支援の方法

チャレンジャーとして	困難な状況にある若者として、ライドに参加。
ガイド・メンターとして	経験豊かなサイクリストとして、チャレンジャーの安全をサポート。
寄付・支援者として	寄付を通じてプログラム費用と自転車寄付を支える。
スポンサーとして	企業・団体としてイベントを支援。

